2025 年 9 月 17 日教授会

昭和学院短期大学 DX 推進基本計画

昭和学院短期大学は情報環境の進展に即した教育を行うために、2016 年度に ICT 教育センターを設立し、5 か年計画及び各年度の事業計画に ICT 事業を含めて参りました。

今後ますますデジタル技術を活用した教育・研究・支援事業などの要請が高まることが予想されることを踏まえて、新たに DX 推進基本計画として策定することといたしました。

<table>
<tr><th></th><th>2021 年度</th><th>2022 年度</th><th>2023 年度</th><th>2024 年度</th><th>2025 年度</th></tr>
<tr><td rowspan="4">施設・設備の整備</td><td colspan="5">← LAN 改修工事→</td></tr>
<tr><td colspan="5">← メディア室 LL 施設計画準備更新 →</td></tr>
<tr><td colspan="5">← 学内 WiFi 環境整備 →</td></tr>
<tr><td colspan="5">← 教室の ICT 機器整備更新 →</td></tr>
<tr><td rowspan="2">図書館</td><td colspan="3">← OPAC システムの運営と新規システム準備</td><td colspan="2">← 図書館新規システム</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td colspan="2">← 国会図書館とデジタル化資料送信サービス申請 →</td></tr>
<tr><td>教職員を対象とした技術支援・教育支援体制</td><td colspan="5">ICT 教育センターの業務として規程に明記している。
← LAN の運用、オンライン授業、OFFICE365、Teams の活用、
アンケート・テスト等での Forms 利用、学内コンピュータの管理等 →
ICT 技術・教育支援</td></tr>
<tr><td>情報セキュリティ対策</td><td colspan="5">必要に応じて規程等を整備し、周知徹底を図る。現在主要な規程等は下記である。
・情報セキュリティ対策基本方針　・情報セキュリティインシデント対応手順
・情報セキュリティ対策基本規程　・コンピュータシステム利用規程 →
・無線ＬＡＮ利用規程　・学生個人情報保護要項
・学生個人情報保護適正管理に関する措置　・昭和学院短期大学特別館管理・使用規程
・昭和学院短期大学附属図書館規程</td></tr>
<tr><td>全学的なチェック体制</td><td colspan="5">教育改革委員会において年 2 回以上
DX による教育の質的転換支援として実施する取組について協議する
2021 年度 6 回、2022 年度 5 回協議、2023 年度 6 回協議、2024 年度 4 回協議</td></tr>
<tr><td rowspan="2">事業計画</td><td colspan="5">← 昭和学院短期大学 5 か年計画 →</td></tr>
<tr><td colspan="5">← DX 推進基本計画 →</td></tr>
<tr><td rowspan="4">教務システム
（DX による学習者本位の学修の実現）</td><td colspan="5">← 成績管理 →</td></tr>
<tr><td colspan="5">← 学習成果の可視化（自己評価及び教師の評価） →</td></tr>
<tr><td colspan="5">←成績、学習成果に基づく学生との面談の実施（全学生と個別面談を年 3 回以上）→</td></tr>
<tr><td colspan="5">学修成果について各学科。専攻で検討し、短期大学としてまとめた結果を教授会で報告する。
← カリキュラム編成の検討事項のひとつとして取り上げ、 →
IR を活用したカリキュラム編成として教授会で報告する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ＤＸによる学修者本位の実現に向けた指標
アウトプット</td><td colspan="5">学生の学修計画に係るアドバイスの 1 年間の実施数
達成：全ての学生に年 2 回以上　概ね達成：9 割以上の学生に達成　未達成：9 割未満の学生に達成</td></tr>
<tr><td>達成</td><td>達成</td><td>達成</td><td>達成</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">ＤＸによる学修者本位の実現に向けた指標
アウトカム（4 以上）</td><td colspan="5">学修成果 4 以上
学生の成長実感（左）、満足度（右）の向上【満足度調査】5 段階評価に変換</td></tr>
<tr><td>達成
（4.4、4.3）</td><td>達成
（4.2、4.3）</td><td>達成
（4.4、4.4）</td><td>達成
（4.2、4.4）</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">取組と指標の妥当性に関する評価体制
（外部評価）</td><td colspan="5">自己点検・評価報告書に関する外部評価委員会</td></tr>
<tr><td>学修成果の妥当性
と
学生の満足度評価</td><td>学修成果の妥当性
と
学生の満足度評価</td><td>学修成果の妥当性
と
学生の満足度評価</td><td>学修成果の妥当性
と
学生の満足度評価</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="2">他大学等に対する取組の普及活動
大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム</td><td>第1回共同FD研修会―数理データサイエンス・AI教育の推進―佐藤智広企画・司会</td><td>大学コンソーシアム市川―オンライン授業に関する意識調査報告会
澤本恭子報告</td><td>大学コンソーシアム市川共同FD研修会「きめ細かな教育における学修成果とDXの活用」守田麻由子報告予定9月25日～10月10日オンデマンド</td><td>大学コンソーシアム市川共同FD研修会「卒業時の平均学生満足度～各大学の状況とその要因～」本学長内恭子9月10か～17日オンデマンド（wifi、ICT設備の満足度含む）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">産業界、地域社会等に対する取組の発信活動・意見聴取</td><td></td><td></td><td>DXによる保育支援のために保育関係者に向けてICTを活用した講座開設（8月から募集、9月末開講）
市川市、産業界、弁護士と本学教員とで取組について意見交換をした。（7月）</td><td>「スマート保育所を実現する保育士リスキリング教育推進事業」6月～12月開講。ダイビック社野呂代表取締役と意見交換。受講生のアンケート実施</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="6">Webの活用</td><td colspan="5">e-ラーニング</td></tr>
<tr><td colspan="5">入試（募集から合格通知、入学前課題まで）</td></tr>
<tr><td colspan="5">大学公式のLINE、SNS、Instagram、Twitter、You Tubeの活用</td></tr>
<tr><td colspan="5">オンラインオープンキャンパス、オンライン面接等</td></tr>
<tr><td colspan="5">各種証明書の発行</td></tr>
<tr><td colspan="5">事務手続き、資料等のペーパレス化</td></tr>
<tr><td colspan="2">認証制度</td><td colspan="5">数理データサイエンス・AIプログラム認定（文部科学省）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">各学科専攻</td><td>キャリア創造専攻</td><td colspan="5">学生一人1台のSurface Go2(遠隔授業補助金)を活用した教育推進</td></tr>
<tr><td>キャリア創造専攻</td><td colspan="2">ビジネス実務、ビジネス英語、アパレルコンピュータ演習、ITパスポート</td><td>新規：WEBデザイン</td><td colspan="2">新規：WEBデザインB、プログラミング、ハイブリッドトータルファッション</td></tr>
<tr><td rowspan="2">こども発達専攻</td><td colspan="2">保育内容総論にロボット・プログラミング導入</td><td>幼児プログラミングでソニーと連携</td><td>新規：ソニーとの連携科目</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>オンラインを活用した科目等履修生制度</td><td colspan="3">スマート保育所実現のためのリスキリング講座（補助金）</td></tr>
<tr><td>ヘルスケア栄養学科</td><td></td><td>オンラインを活用した科目等履修生制度</td><td colspan="3">栄養士関連科目について授業方法に制約があるため、
教養科目、学修成果分析等で活用する</td></tr>
</table>